



「五千石遺跡展-川がつなく営み-」 特別展・展示説明会開催

信濃川河川事務所は、燕市教育委員会及び長岡市教育委員会との共催により、「五千石遺跡展」を開催します。

本展では、信濃川流域に位置する五千石遺跡から出土した土器や木製品、玉作に関する資料などを展示し、古墳時代の人々の暮らしや文化を紹介します。

また、展示内容について理解を深めていただくため、展示説明会を開催します。

○特別展

期 間：令和8年11月7日(土)～12月20日(日)

会 場：信濃川大河津資料館2F企画展示スペース

内 容：五千石遺跡の概要、古墳時代の出土品、
川と人々の営みが感じられる情報等を展示。

○展示説明会（申込必要）

期 間：令和8年11月14日(土)10:00～11:30

会 場：信濃川大河津資料館2F多目的ホール及び企画展示スペース

構 成：10:00～10:30 大河津分水路事業の歴史－信濃川河川事務所

10:30～11:10 五千石遺跡の概要と川との関わり－燕市・長岡市

11:10～11:30 展示解説－燕市・長岡市

内 容：五千石遺跡発掘調査の契機となった大河津可動堰改築事業の紹介、
五千石遺跡の概要、川との関わり、出土品の特徴等の解説。

申 込：申込フォームから申込み（定員50名）

申込受付：11月1日申込受付開始

案内図



展示説明会
申込フォーム

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、
新潟市政記者クラブ、新市政記者クラブ、長岡市記者会
長岡地域記者会、三条市記者室、十日町記者クラブ、
小出郷新聞、小千谷新聞、越南タイムス、FMゆきぐに、
エフエム魚沼、業界専門紙

問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所
広報担当 建設専門官 八木
電 話 0258-32-3020（内線408）
F A X 0258-33-8168



2026年

11月7日

12月20日



GOSENGOKU
ARCHAEOLOGICAL SITE EXHIBITION

五千石遺跡展

川がつなぐ営み

大河津分水の周辺は、川や潟を通じて海と内陸を結ぶ
交通の要所として人や物が行き交う場所でした。

可動堰改築事業で発見された
五千石遺跡をご紹介します。

開催決定！

定員
50名

2026年
11月1日
申込受付
開始

展示説明会 11月14日(土) 10:00~11:30

展示説明会は申込が必要です。 詳細は裏面をご覧ください。



会場: 信濃川大河津資料館

信濃川大河津資料館HP

住所 新潟県燕市五千石

TEL 0256-97-2195

開館時間 9:00~16:00

休館日 月曜日(休日の場合は翌平日が休館日)



<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/>

共催 国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所 燕市教育委員会 長岡市教育委員会

木製品



クワの先。五千石遺跡では多くの木製品が出土しました。農具は稲作をするうえで欠かせない道具であり、どれも村人たちの手作りの品です。

赤彩の壺



高さ22cmの古墳時代前期の壺。全面に朱が塗られています。朝顔のように大きく開いた口と丸い胴部は、この時代を象徴するかたち。畿内地方にルーツが求められます。

白玉 石製模造品



水辺では白玉（首飾りなどにするビーズ玉）が数多く見つかりました。三種の神器の剣と鏡をかたどったものと考えられる石製品（右下）も出土しています。

内面黒色土器



内面を黒く仕上げた「内黒」の土器。焼成時の工夫によって黒くなり、なめらかで光沢のある器に仕上げられています。実用性と美しさを兼ね備えた土器です。

五千石遺跡展

★川がっなぐ営み★

GOSENGOKU
ARCHAEOLOGICAL SITE
EXHIBITION

須恵器



古墳時代になると須恵器という焼き物が出現しました。須恵器はロクロを使い、穴窯によって高い温度で焼かれるのが特徴で、硬く水に強い性質を持っています。

玉作(たまつくり)



管玉は、古墳時代の装身具の一つです。展示品からは、石を削り、磨き、穴をあけて管玉へ仕上げる、たまつくりの工程を知ることができます。

小型丸底壺



小型丸底壺は、丸みを帯びた底をもつ小型の壺です。古墳時代の祭祀や食事に用いられました。粘土を形成し、窯を使わずに焼上げた土器は土師器と呼ばれています。

甕(はそう)



甕(はそう)は、胴部に小さな孔をもつ古墳時代の土器です。酒などの液体を注ぐために使われたと考えられ、祭祀との関わりも指摘されています。

定員
50名

展示説明会

2026年11月14日(土)10:00~11:30

大河津分水路改修事業「令和の大改修」の概要や進捗状況を紹介するとともに、可動堰改築事業で発見された五千石遺跡をご紹介します。大河津分水路周辺の遺跡に共通する「古墳時代」をキーワードに、出土品を通して古代の人々の暮らしをひもときます。

会場 信濃川大河津資料館

講師紹介



信濃川河川事務所計画課
三谷 龍之祐



燕市教育委員会
松島 悦子



長岡市立科学博物館
加藤 由美子

申込フォーム
から



二次元コードを読み取るとお名前、電話番号等を記入いただく画面となります。
<https://business.form-mailer.jp/fms/t663e4d8360982>

